

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	丹陽福祉会 みどり保育園	施設種別	保育園 (旧体系 :)
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成31年2月5日

総 評	<p>みどり保育園は、福知山駅から南に位置する丘陵の静かな住宅街の中に昭和45年に開設し、地域と共に歩んできた保育園です。法人の丹陽福祉会は、戦後孤児の救済を目的として、キリスト教の精神のもとに子ども一人ひとりの命と育みを大切に、その精神に基づいて運営されています。</p> <p>建物は平屋で園庭が広く、「太陽と土と豊かな心」のテーマの下、外遊びで伸び伸び身体を動かし、園庭の端にある畑では野菜を育てたり小さな生き物を飼育するなど、自然の中で様々な体験を通して感性豊かな保育が実践されております。</p> <p>朝の登園時から1日の流れの中で、落ち着いた空気が流れており、子ども達も安心して日常生活を過ごしている様子が伺えました。また毎日の日課として0歳児から年長児まで全員が集まって朝の体操をし、保育過程が年齢ごとの発育のきめ細やかさと異年齢のつながりの中、一人ひとりの個性を尊重した保育方針としての「生きる力」や「伸びる力」につながっていることと見て取れました。</p> <p>特に地域との関係は深く、夏や秋の保育園のお祭りには共に協力しあい、年間通した行事にも保護者参加の機会が多く、地域や保護者と一体となって運営されているのが大きな特徴です。</p> <p>一方、昨年度から園長の異動やベテラン保育士の方々が定年退職され、新卒保育士が増えた新体制の中、組織づくりから保育環境の整備など、まだまだ発展途上と自覚しての今回の第三者評価を受診しています。前回の受診から5年経過しており新体制で日々努力されているのですが、その次のステップとして、客観的視点での現在の組織体制や保育環境を振り返り、更なる保育の向上を目指す姿勢が、熱い思いとして感じ取れました。</p> <p>これからも地域や保護者と共に子どもの成長を見守り、ますます親しまれる保育園として発展されますことを期待しております。</p>
-----	--

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>Ⅱ-4-(1)①子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p>保育園のお祭りには 自治会・子ども会に手伝ってもらい、地域の方々を招待しています。また子ども達は、高齢者施設や老人会に花束を持って訪問したり、劇を披露するなど高齢者と交流する機会が多いです。</p> <p>その他にも子ども達の描いた絵画を企業（レストラン・銀行・映画館）に出展したり、児童センターの文化祭にも絵画の展示や参加をしています。</p> <p>Ⅲ-1- (1) ①子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取り組みを行っている。</p> <p>丹陽保育園（丹陽福祉会の創設）の創設者の思い、聖書に基づく精神の基礎は新体制となっても引き継がれ、子どもを尊重した保育については、毎月の職員会議で共通理解をもった上で、保護者には「みどり保育園えんだより」で、きめ細やかな内容を掲載しています。</p> <p>A-1- (1) ②一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p> <p>特に「受容」については、深く理解するために様々な著書を参考に職員研修に活かしています。その上で日々の子どもの観察や保護者との送迎時の情報共有等で、個々に応じた指導計画を作成し保育実践しています。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>1-3- (1) ①中・長期なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p>改修等にかかる中長期計画は策定していますが、ビジョン及び数値目標などを明確にした計画は策定されていませんでした。</p> <p>事業所の運営では、事業所理念に基づき中長期的なビジョンが必要とされます。職員が中長期的に進むべき道筋としての計画の明文化が望まれます。</p> <p>Ⅲ-1- (5) ④不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。</p> <p>不審者侵入時に備え、各出入口に防犯カメラが設置されていますが、玄関の鍵は棒を差し込む仕組みとしており、自由に出入りができることから、保護者にも不安感があります。このことは事業所としても十分認識されており中長期の課題としています。</p> <p>A-1- (2) ④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p> <p>「太陽と土と豊かな心」をテーマに恵まれた園庭があり、「保育環境リーダー」の主導での豊かな保育が展開されています。乳児クラスの保育室も増設し広々としており安心安全な環境でした。ただ、保育士からの指示が多いと感じておられたため、</p>

	今後は、子どもの自発性が存分に発揮できる関わりを期待しています。
--	----------------------------------

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所版 対比シート

施設(事業所)名	社会福祉法人 丹陽福社会 みどり保育園
サービス種別	保育所
評価実施 年月日	平成 30 年 11 月 9 日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

- 1) 保育理念「太陽と土と豊かな心」、基本方針、保育目標を掲げ、保育所要覧、ホームページにに掲載している。職員には、事務室に掲示するとともに職員会議や機会を見つけては確認を行っている。保護者には入園時に冊子を配布するとともに説明を行っている。
- 2) 全国的動向については、京都府保育協会を通じて把握している。地域のニーズは福知山市民間保育協議会や地域の子育て児童センター等を通じて把握している。
- 3) 理事会において経営課題を明確にして改修や人材育成などの具体的な取り組みを進めている。また、会計事務所と連携して保育のコスト分析や利用率の分析を毎月行っている。
- 4) 改修等に係る中長期計画は策定しているが、ビジョン及び数値目標などを明確にした計画は策定されていない。
- 5) 単年度事業計画は、前年度の振り返りを踏まえたものとなっており、年2回職員会議で振り返りを行っているが、数値目標などが掲げられ評価を行える内容となっていない。
- 6) 事業計画は、年度末の総括の中で職員の意見を反映して、理事会を通じて策定されている。年度初めの職員会議で説明されるとともに年度途中に振り返りを行っている。
- 7) 入園・進級式時に年間計画等を保護者懇談会で配布して、説明を行っている。
- 8) 保育内容については保育課程にかかる振り返りを職員会議や人事考課を活用して行っている。
- 9) 評価結果や行事等における課題については、共有化するとともに具体的な改善策として床暖房や夏のミストの設置につなげている。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
	19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a

	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a	
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a	
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a	
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a	
		24	②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b	
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
			27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a

きょう

- 10) 園長の平時及び有事における役割と責任は、防災計画、職員配置表及び組織図に明示している。また、園長は職員会議や研修に参画し指導を行うとともに、広報紙「みどり保育園えんだより」等を通じて対外的に表明している。
- 11) 京都府集団指導や京都府保育協会等から情報収集し、職員会議等において周知徹底をしている。また、保育の法令、法律ガイドを事務室に整備し閲覧できるようになっている。
- 12) 園長は、日誌に目を通し、必要に応じてコメントを記入している。職員会議等に参加してアドバイスをを行うなどリーダーシップを発揮している。職員の意見を反映するために面談を年に2回行っている。
- 13) 会計事務所と連携をし、設備投資、人件費率や人員配置などの課題等について把握をしている。全部屋にIPADを配置して業務の効率化を図っている。
- 14) 法人として、就職フェアや学校訪問をして人材確保に努めている。また、キャリアパス表に基づく研修体系を整備している。3年目までの職員についてはピアノのレッスン代を全額補助している。
- 15) 法人としてキャリアパスに基づく人事基準が定められている。また、人事考課（年2回）及び0JTの仕組みがある。しかし、期待する職員像としては、明文化されたものが確認できなかった。
- 16) 有給取得や時間外労働のデータ把握を行うと共に、人事考課とは別に必要に応じて園長による個別面談の機会を設けている。育児休業・介護休業法に基づく規程が整備され適切に対応されている。京都府民間社会福祉施設職員共済会及び福祉医療機構に加入するとともに福利厚生として互助会が組織されている。
- 17) 法人としてキャリアパスに基づく人事基準が定められ、研修等が実施されている。年2回、面談を行うとともに一人ひとりの目標設定シートに基づく進捗状況の確認及び評価をしている。
- 18) 法人としてキャリアパスに基づく研修体系があり、保育協会等外部研修及び内部の年間研修計画が策定されている。研修の見直しについては園長を中心に行われている。
- 19) 法人のキャリアパスに基づく階層別研修のほか、個別の職員の希望や課題に応じて研修が受けられるように配慮されている。受講後は、報告及び伝達研修を位置づけている。
- 20) 保育実習や高校・中等等積極的に実習等の受け入れを行っている。保育実習については大学等と連携をし、受け入れマニュアルや担当者を整備している。
- 21) 法人ホームページやワムネット、「みどり保育園えんだより」、要覧等を活用して保育の内容や事業内容等の情報公開を行っている。
- 22) 法人において経理や取引等に関するルールが経理規程にて明確化されている。毎月、会計事務所による指導を受けている。
- 23) 保育園のお祭りには自治会・子ども会に手伝ってもらい、地域の方々を招待している。また子ども達は、高齢者施設や老人会に花束を持って訪問したり、劇を披露するなど高齢者と交流する機会が多い。その他にも子ども達の描いた絵画を企業（レストラン・銀行・映画館）に出展したり、児童センターの文化祭にも絵画の展覧や参加をしている。
- 24) 実習生・高校生のインターン・職場体験など、学校教育等への協力について基本姿勢を明文化しているが、ボランティア希望者に関しては、責任感をもって働いてほしいためアルバイトとして働いてもらうようにしている。
- 25) 福祉事務所や児童相談所・保健所など、地域の関係機関や様々な団体との連携は密にとっている。
- 26) 保育園の夏祭りや収穫祭には地域の方々に開放して来てもらっている。災害時等においては自治会との関係性が深く協力体制にある。
- 27) 民間保育協議会や理事会、また市の子育て推進室との連携など多方面から福祉ニーズを把握して、「家庭支援推進計画」に反映させている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
41			② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	a
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]

28) 丹陽保育園（丹陽福祉会の創設）の創設者の思い、聖書に基づく精神の基礎を引き継ぎ、子どもを尊重した保育について職員は共通の理解もっている。

29) 子どものプライバシー保護について、保護者には入園説明会で個人情報保護とともに説明し同意書を書いてもらっている。職員はプライバシー保護や権利擁護・虐待防止についても研修を重ね、配慮した保育をしている。

30) ホームページやパンフレットに詳細の内容を掲載している。また保育希望者には見学してもらい、説明や質問にも答え対応している。

31) 保育の開始・変更には、保護者会総会や役員会で説明している。個人の保育変更については、保護者の意向に十分配慮し、具体的な内容や日常生活の留意事項などわかりやすく説明している。

32) 保育園の変更がある場合は、保育の継続性を配慮した引継書を定めている。

33) 苦情への対応について、規定を玄関の掲示板に掲示している。意見の投書箱も置いている。担任が保護者対応をして、主任・園長、そして内容によっては役員会に連絡・報告する体制となっている。

34) 保護者の相談や意見は、毎日の送迎時の会話や連絡帳に記入されることが多い。状況や内容によっては、相談室（くつろぎ室）で対応している。

35) 保護者からの相談や意見は、すぐに対応できるものは迅速に対応し、内容によっては役員会で相談して対応している。

36) リスクマネジメントについて、気になったことは全てヒヤリハットに記入し、文書で各クラス回覧とチェックをもらっている。職員会議でも話し合うようにしている。

37) 感染症の予防と発生時には、常に園医と連絡を取り合い、その都度連携のもと適切に対応している。職員会議でも勉強会を実施している。保護者には「みどり保育園えんだより」を通して情報提供をしている。

38) 災害時において、ハザードマップ上の洪水や土砂崩れの心配はないが、毎月避難訓練を実施している。万が一に備え、災害時用の備蓄も置いている。

- 39) 不審者侵入時に備え、防犯カメラを設置しているが、玄関の鍵は棒を差し込む仕組みとしており、自由に出入りはできることから中長期の課題としている。
- 40) 保育について標準的な実施方法が文書化され、職員は会議や園内研修で理解した上で保育している。保護者には園だよりで保育内容を提示し、個別には連絡帳に記入している。
- 41) 保育の標準的な実施方法の見直しは、毎月の職員会議や研修において検証している。
- 42) 独自のアセスメントシートを整備し、「個人別指導計画と観察記録」に記録している。保護者からの意向は連絡帳や保育士に伝える言葉からアセスメントシートに反映させている。療育手帳を持っている子どもは関係機関と連携している。
- 43) 指導計画の評価と見直しは毎月の職員会議で行っている。
- 44) 子どもに関する保育の実施記録は、適切に行われている。全職員の共有化については毎月の職員会議やクラス担当ごとで話し合っている。
- 45) 個人情報保護規定により、子どもの記録に関する規定が定められている。全職員に周知もされており、取扱いについては保護者にも説明している。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	a
		A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
	48		② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
	49		③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
	50		④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
	51		⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	52		⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	53		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	54		⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
	55		⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	56		⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- 46) 法人理念、保育理念、保育方針に基づく保育過程が編成、実行されている。保育に関わる全職員の参画により実施される職員会議で協議され、次年度の計画に生かされている。
- 47) 室内はどこも清潔に保たれていた。また、エアコン、床暖房等により極端な温度変化がないよう配慮されている。「保育環境リーダー」を設置し、四季を通して自然を生かした取り組みが実施され、子どもが生き生きと過ごすための工夫がある。
- 48) 「受容」についての職員研修を実施するとともに、日々の子どもの観察や保護者との送迎時の情報共有等で、個々に応じた指導計画が作成され、実施されている。
- 49) 子どもの発達段階に合わせて、子ども自身が生活習慣を身につけることの大切さについて理解できるよう、異年齢保育でお手本を見せたり、特にアレルギーに関しては自ら危機管理（自分で自分の身を守る）ができるよう働きかけている。保護者には月毎の「みどり保育園えんだより」で周知している。
- 50) 「太陽と土と豊かな心」をテーマに恵まれた園庭があり、「保育環境リーダー」主導での豊かな保育が展開されている。乳児クラスの保育室も広々としており安心安全な環境であった。ただ、保育士からの指示が多い保育になっているとの自覚があり、子どもの自発性が存分には発揮できていない。

- 51) 入園時には十分な慣らし保育期間があり、親子の安心につながっている。京都府産の木造建築で温かみのある保育室になっており、温度湿度の調節もしっかりと管理されていた。
- 52) 家庭訪問や個別懇談、年齢別懇談会等で家庭との連携を行い、子ども自身が安心して遊び、育まれるよう関わっている。自然と親しめる工夫や遊具・玩具も充実している。
- 53) 質の高い保育を個々の発達状況に合わせて提供するために、愛着や人権に関する園内研修を積極的に行っている。保育園で情緒を育むために欠かせないピアノのレッスンを園費で支出する等、保育士の専門性向上に向けた取り組みがされている。
- 54) 保健センターや療育機関との連携により、障害のある子の特性に合わせた配慮ができています。静かに過ごせる場所を用意するなど、情緒面に配慮した安心できる空間作りにも取り組んでいる。
- 55) 現在は15:00以降におやつや軽食の提供はないが、子どもたちの状況も見ながら今後の検討として取り組む。子どもの生活の連続性に配慮して引き継ぎノートを活用し、ゆっくりと過ごせる環境や、保護者との連携には配慮している。
- 56) 福知山市には、就学前スクリーニングのシステムがあり、気になる子どもがいた場合、通学区域の学校の学年主任が園訪問をしてくれる。園から様子を伝えることでスムーズな就学につながっている。市の就学システムの中で保護者への説明が保育と教育が連携して実施されている。
- 57) 家庭との連絡や日常的な子どもの様子観察で子どもの健康管理には気を配っている。特に乳児は毎日の検温を欠かさず実施している。保健に関する計画は年間行事計画に載せて計画的に実施している。家庭での様子を登園時に保護者から聞き取ったり、保護者には季節ごとの留意点を入り口の掲示板や口頭で知らせている。
- 58) 健康診断・歯科検診の日程は、年間行事計画や毎月のお便りで保護者に周知している。保育の中では毎日うがい歯磨きを行い、給食を通して食による健康の指導をしている。健診の結果は職員間で共有するとともに保護者にも伝えている。
- 59) アレルギーに関しては、年1回医師の診断書の提出をお願いしている。変更時は担任だけでなく栄養士も保護者との面談を行う。現場では、アレルギー児専用トレイ、名札を準備して、個別に提供している。緊急時の対応マニュアルがあり、職員にも研修で周知している。
- 60) 保育園に菜園があり、野菜作りを通じて、子どもたちが食について関心を持てるよう取り組んでいる。「収穫祭」には、みどり保育園えんだよりで保護者にも呼びかけ、親子で調理をしたり、大なべを囲んで楽しく食事をする機会がある。
- 61) 旬の食材を意識した献立にしている。食材によっては0・1歳児クラスだけ食べやすいよう別メニューにすることもある。調理員、栄養士が給食の様子を見学したり、残食の記録を基に調理法を工夫している。地域の食文化を大切に行事食に組み込むなどしている。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2- (1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2- (2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3- (1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- 62) 登降園時の保護者とのやり取りで家庭と園の様子をお互いに伝え合う他、0歳児から年長児まで連絡帳があり活用している。行事等での親子の関わり方も注意深く見ており、気になる行動があったときは職員会議で話し合い、対応を職員間で確認している。また、ベテラン保育士を「保護者支援リーダー」に任命して保護者との話し合いの機会を設けている。
- 63) 基本的にはクラスリーダーを中心に対応しているが、相談の内容によっては、2名配置している「保護者支援リーダー」が対応できるようにしている。相談内容を記録し、都度園長に報告する他、職員間でも共有している。緊急の場合は保育所開設時間外でも対応できる体制がある。
- 64) 虐待通告マニュアルがあり、これに基づく職員研修を実施している。通告連絡先は職員室の壁面に掲示されており、職員間で共通認識ができています。今までなかったあざを発見した時などは、一旦写真に撮り、その後保護者との関係を壊さないよう留意しながら話を聞くようにしている。
- 65) すべてのクラスが複数担任制になっているため、保育実践についての振り返りが、客観的かつ自己評価として日々実施されている。クラス内だけでなく、記録を園長先生に見てもらったり、先輩保育士に相談することで、意識の向上、保育の改善、専門性を身に付けることに役立っている。